

北海道メジャーグループプロジェクト 2022 キックオフ

私たちがよりよい未来を  
つくるための「指標」とは？  
—地域のSDGs指標をつくろう

2022年7月23日（土）  
13:30~16:00  
オンライン開催

第一部 地域指標づくり・各地からの報告

# 富山からの報告

一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）

常務理事/事務局長 堺 勇人



みんなdeミライ



環境市民プラットフォームとやま

Platform of Environmental Citizenship T O Y A M A

**SDGs**達成に向けたローカルプラットフォーム

2018 - 2030

# □ はじまりはアースデイとやま

SINCE 1991



(アースデイとやま2012 5月13日 富山城趾公園)



その日限りのイベントで終わってしまう...

→ 日常的な取組が必要





## 立役者は本田恭子さん



「持続可能な開発目標」を地域から達成しようと市民団体が記者会見



# □ なぜSDGsを？

## 「誰かの課題」



## 「みんなの課題」

社会課題

(マイノリティ、弱者、環境、未来..)

誰かが  
取り組むもの...

多数・主流  
マジョリティ

誰かの責任

自分には  
関係ない

つながって  
いる！

社会全体で  
取り組む課題  
なんだ！

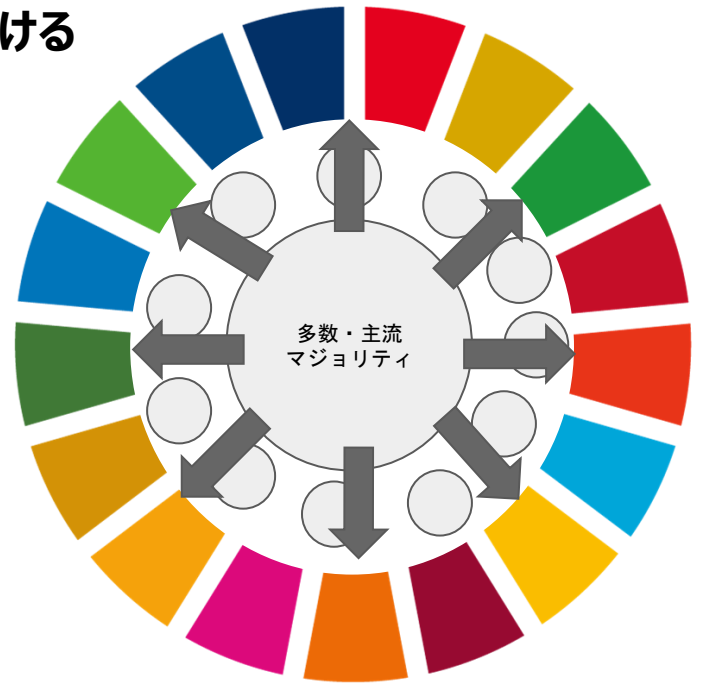
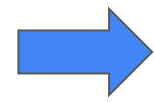
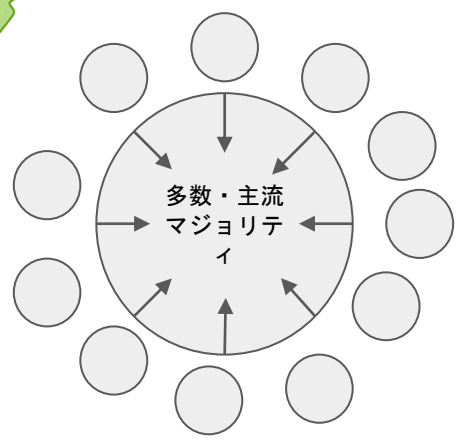
多数・主流  
マジョリティ

▶▶ 複合的な課題を、みんなで考え・みんな取り組める状態にできそう！

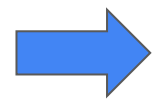
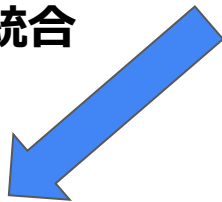


# ①SDGsで多様なステークホルダーを引き付ける

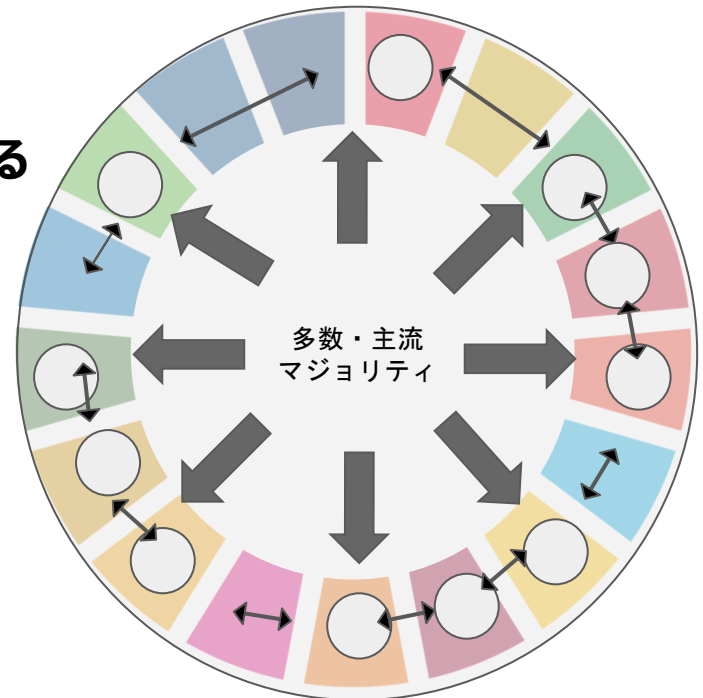
(富山の)  
社会課題



# ②具体的な（ローカル）課題・取組と統合



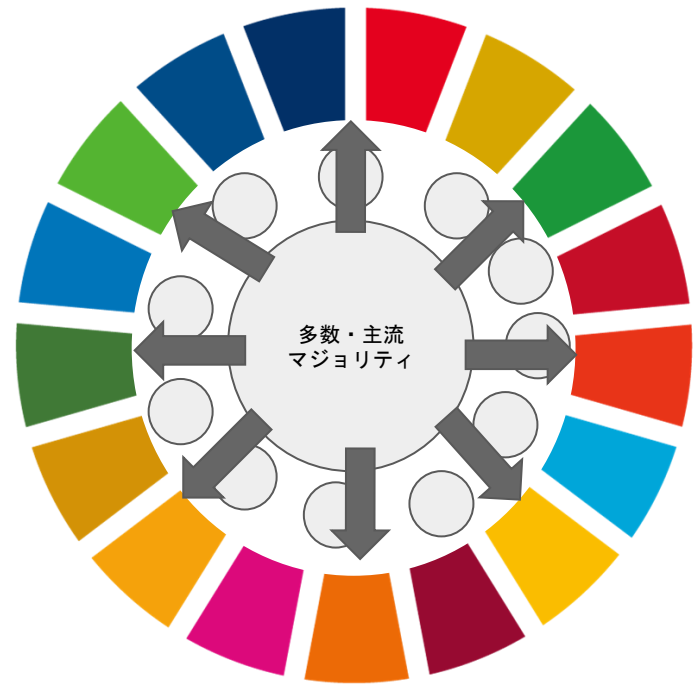
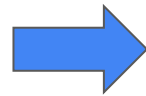
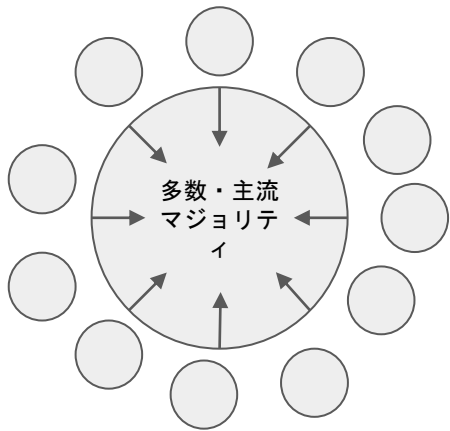
# ③実施体制をつくる





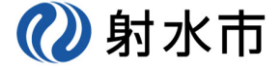
## ①SDGsで多様なステークホルダーを引き付ける

(富山の)  
社会課題



2018 ~

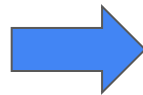
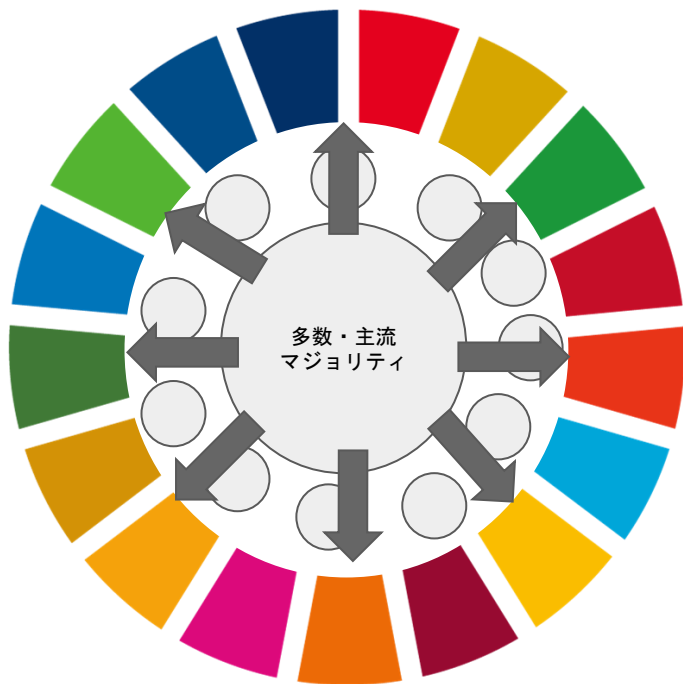








## ②具体的な（ローカル）課題・取組と統合



2020 ~

# □ ②具体的な課題・取組と統合

→身近な「誰一人取り残さない」トピックにフォーカス

「誰一人取り残さない」って  
どういうこと??

SDGs トークカフェ

〇〇でも生きやすい (全6回)  
これからの富山のカタチ

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGs（エスディーゼーズ：持続可能な開発目標）。  
誰もが生きやすい社会を、ここ富山でも実現するにはどうしたらいいでしょうか。  
富山で日々生きづらさに直面する様々な方々と直接向き合い活動されている方をゲストにお招きし、  
その現状を伺いつつ、どんな富山だったら誰もが生きやすくなるだろう??ということを皆さんと語り合う  
カジュアルな対話イベント（トークカフェ）です。



|  |   |  |
|--|---|--|
| <p><b>1</b> 9/12 (土)<br/>14:00~16:00<br/>オンライン &amp; お寺<br/><b>不登校/引きこもり</b><br/>でも生きやすい富山って??<br/>★トークゲスト★<br/>星橋国際高等学校富山キャンパス<br/>キャンパス長 飯田 良智さん</p> | <p><b>2</b> 9/27 (日)<br/>10:00~12:30<br/>オンラインのみ<br/><b>生き物</b><br/>も生きやすい富山って??<br/>★トークゲスト★<br/>富山大学 准教授 榎知 幸浩さん<br/>山のハム工房アール・ド・オー 代表 石原 潔さん<br/>株式会社 島田実村 代表取締役 島田 優子さん</p> | <p><b>3</b> 10/25 (日)<br/>14:00~16:00<br/>オンライン &amp; お寺<br/><b>一人親家庭</b><br/>でも生きやすい富山って??<br/>★トークゲスト★<br/>NPO法人 ハッピーワーマンプロジェクト<br/>代表 小林 涼子さん</p> |
|--|---|--|



|   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>4</b> 11/7 (土)<br/>14:00~16:00<br/>オンライン &amp; お寺<br/><b>障害者</b><br/>でも生きやすい富山って??<br/>★トークゲスト★<br/>NPO法人 文樺<br/>代表 八木 勝自さん</p> | <p><b>5</b> 11/22 (日)<br/>14:00~16:00<br/>オンライン &amp; お寺<br/><b>外国人</b><br/>でも生きやすい富山って??<br/>★トークゲスト★<br/>NGO ダイバーシティとやま<br/>代表 富田 妙子さん</p> | <p><b>6</b> 12/20 (日)<br/>14:00~16:00<br/>オンライン &amp; お寺<br/><b>性的マイノリティ</b><br/>でも生きやすい富山って??<br/>★トークゲスト★<br/>ダイバーシティライオンズ富山 代表/富山大学 准教授<br/>林 夏生さん</p> |
|---|--|---|



9/27はアースデイとやま2020と運動(オンラインのみ)

グラフィック・レコーディング※による対話の見える化  
※対話や会議の様子をその場で絵として記録する手法  
ファシリテーター: 鈴木耕平さん グラフィックアー: 樋口菜美香さん

参加無料  
どなたでも参加いただけます!

お申込はコチラ

<https://forms.gle/qAMwKyTnTXrsbz0R>

光教寺 SDGs OTERA cafe と連動!  
(光教寺: 富山県奥砺波郡井波1735)

主催: (一社)出羽人 環境市民プラットフォームとやま (PECCとやま)  
Tel: 076-400-8305 Email: info@pectoyama.org  
※このイベントは地球環境基金の助成を受けて行います。




〇〇でも  
 生きやすい  
 これからの  
 富山をみんな  
 考えてみました。

あなたなら〇〇に  
 何を入れますか？

SDGs トークカフェの記録

## THEME4 「障害者」でも生きやすい富山って??

「できないこと」は人それぞれ。必要に応じてそれを互いに補い合えればいい。




GUEST  
 NPO 法人文福 理事長  
 八木 勝日さん

障害者の自立や社会参加を支援する NPO 法人文福の代表で、自らも脳性麻痺で車いす生活を送る八木さんから、ご自身のエピソードや普段感じていることなどを伺いました。「歩けなくてかわいそうと言われても、一度も歩いたことがないから、歩ける方が不思議に思う」「生まれ育った地域（上市）では、特別扱いされることがなかったので自分が障害者だと思ったことはなかった」「バリアフリーのスロープは

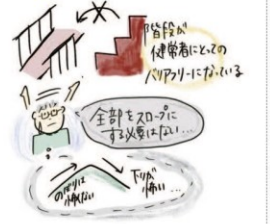
視覚障害者にとっては下りが怖い」「戦争は障害者を含めて人権や制度を全て破壊する」「人間が人間を助けて生きていく社会しかない」「障害の有無に関わらず、できること・できないことは人それぞれ。それを互いに補い合えればいい」。社会の障壁（生きにくさ）に直面する人の意味で「障碍（がい）者」という漢字を使う動きがあることも伺い、物事の捉え方も含めた生きやすさについて語り合いました。

### Graphic01




元々歩けないから歩くことが不思議...

### Graphic02



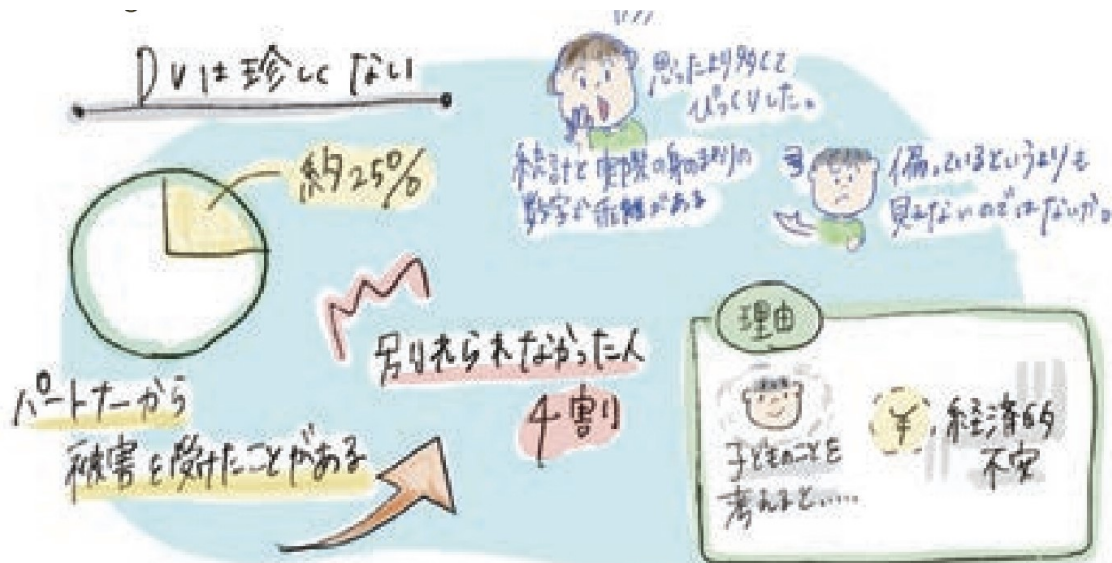
スロープの下りは怖い...

### Graphic03



人に障害がある？社会に障壁がある？

グラフィック：樋口 実美香さん



GUEST



NPO 法人 ハッピーウーマン  
プロジェクト 理事 小林涼子さん

## 富山の女性 DV 被害率 30%、離婚しづらい理由

(グラフィック：樋口 菜美香さん)

<https://www.pectoyama.org/post/sdgsnlbtoyama-book>

# 「富山には、無いでしょ。」

TARGET 5-2

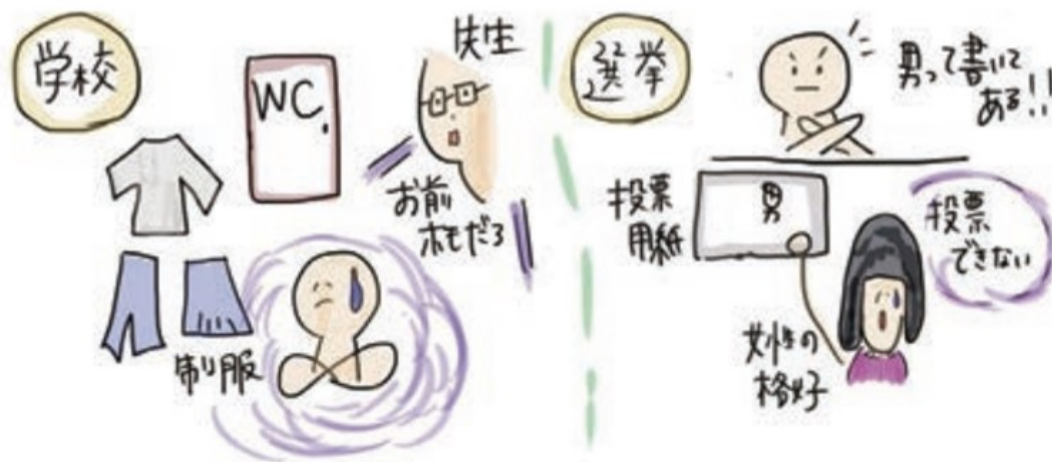


5.2

人身売買や性的・その他の搾取を含め、公的・私的な場で、すべての女性・少女に対するあらゆる形態の暴力をなくす。

([https://xsdg.jp/pdf/SDGs169TARGETS\\_ver1.2.pdf](https://xsdg.jp/pdf/SDGs169TARGETS_ver1.2.pdf))





GUEST



ダイバーシティラウンジ富山代表  
富山大学人文学部 准教授 林夏生さん

## 性的少数者が生活するうえで困る場面

(グラフィック：樋口 菜美香さん)

<https://www.pectoyama.org/post/sdgsnlbtoyama-book>

# 「富山には、いないでしょ。」



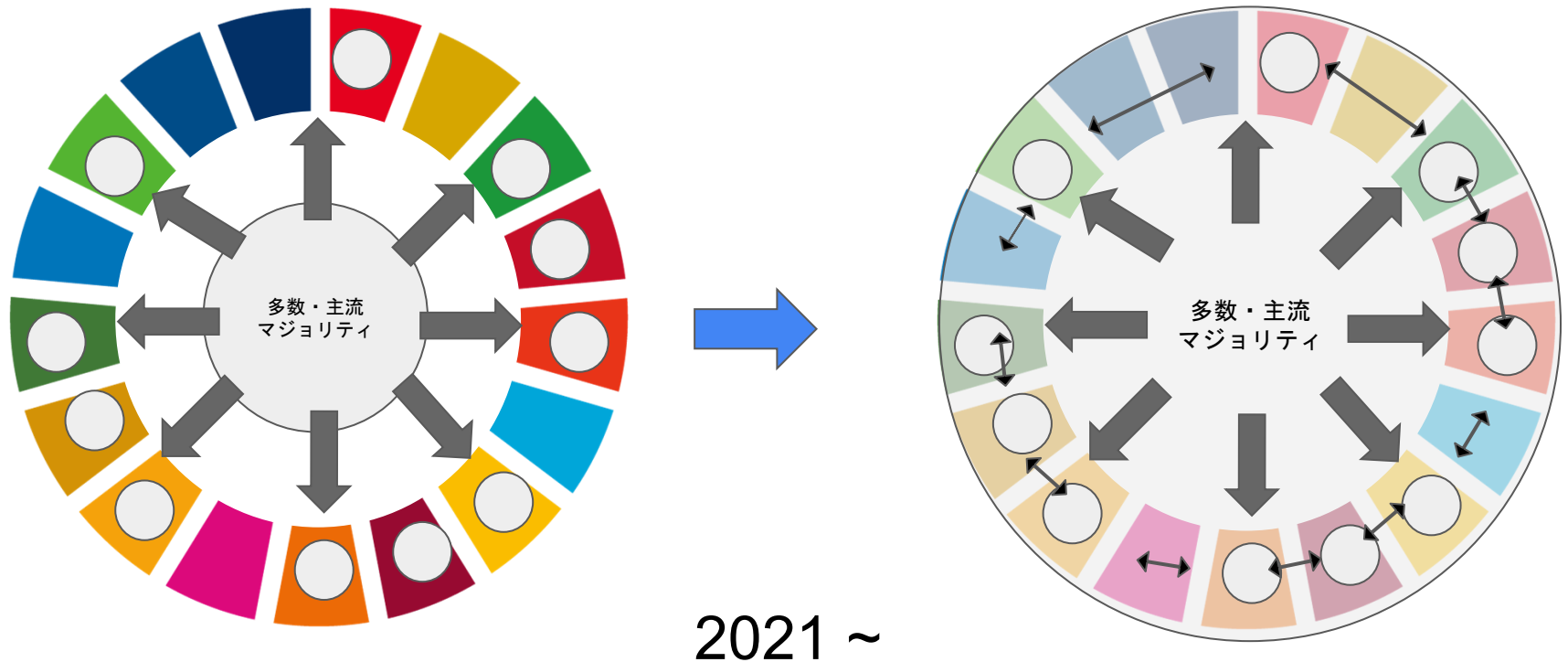
### 10.3

差別的な法律や政策、慣行を撤廃し、関連する適切な立法や政策、行動を推進することによって、機会均等を確実にし、結果の不平等を減らす。

→身近なこととSDGsがつながっていない、認知されていない...



### ③実施体制を作る



- マルチステークホルダーで（誰かの課題→みんなの課題）
- 進捗をモニタリング（ターゲットや指標の必要性）

## 自治体との連携

富山市、富山県（SDGs未来都市）

「SDGs未来都市」として掲げた計画実現の進捗を追っている状態

→SDGs自体の進捗確認体制はない  
（マルチステークホルダー体制でもない）

## **【富山県】 →委員会にて提言**

- **包摂的メンバーでない：メンバーに福祉分野が入っていなかった→富山県社会福祉協議会が加入**
- **計画に「包摂的」文言が一切出てこない→追加**
- **モニタリング体制の必要性を提言→課題共有**



**【富山市】→既存の枠組みを利用し、市民ボトムアップの形でつくる仕組みを検討**

- **「富山市SDGsコミュニケーター養成講座」  
「STEPUPミーティング」にて具体的課題の現状とデータを共有→特に取り組みの必要な課題のターゲット・指標を抽出（NPO、市の担当課：出前講座を利用）**
- **毎年開催の富山市SDGsフォーラムで全体共有→以降、進捗確認の場に**